

5 産業経済の状況

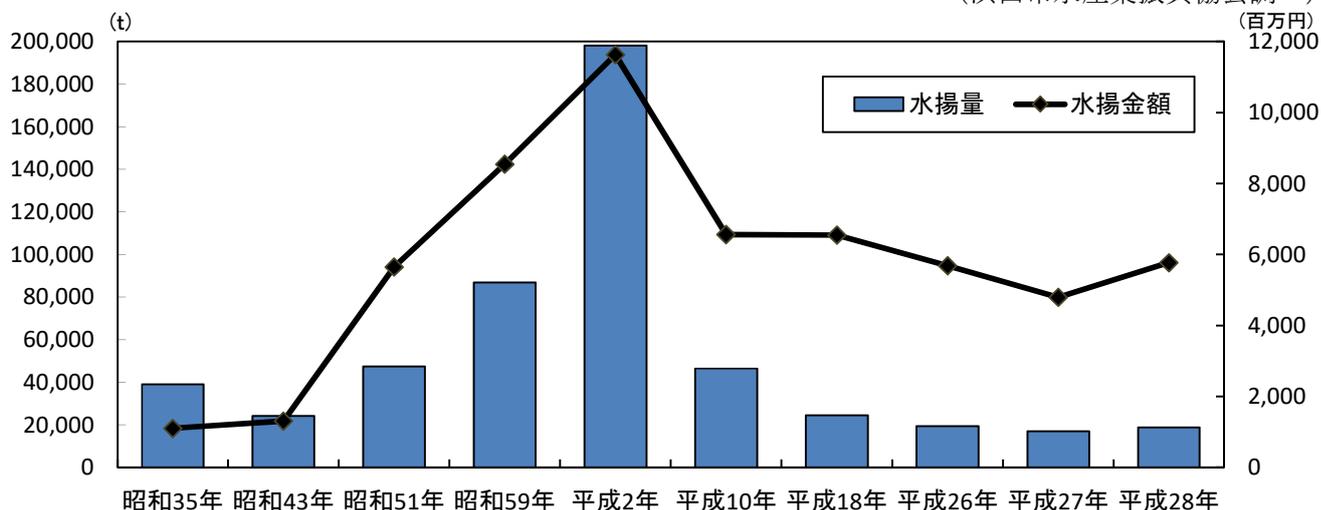
(1) 水産業

① 浜田漁港の水揚量と水揚金額の推移

(単位:t、百万円)

	昭和35年	昭和43年	昭和51年	昭和59年	平成2年	平成10年	平成18年	平成26年	平成27年	平成28年
水揚量	39,043	24,140	47,446	86,805	198,104	46,478	24,455	19,295	16,953	18,763
水揚金額	1,102	1,305	5,649	8,543	11,631	6,562	6,542	5,683	4,791	5,764

(浜田市水産業振興協会調べ)



昭和35年 昭和43年 昭和51年 昭和59年 平成2年 平成10年 平成18年 平成26年 平成27年 平成28年

② 魚種別水揚量の推移

(単位:t)

	昭和35年	昭和43年	昭和51年	昭和59年	平成2年	平成10年	平成18年	平成26年	平成27年	平成28年
いわし類	6,230	1,906	17,163	65,279	171,856	8,408	701	30	403	113
あじ	20,147	5,214	670	4,081	9,212	24,542	7,925	6,895	4,147	5,050
さば	1,708	4,721	14,573	5,746	4,029	6,322	5,369	4,604	4,987	6,899
かれい	1,872	1,813	2,230	1,827	2,513	715	1,355	937	787	741
いか類	997	1,887	5,841	4,374	4,514	2,266	1,964	1,368	1,917	1,385
貝類	41	59	79	154	175	136	75	53	49	53
藻類	3	13	33	52	79	26	18	13	8	9
その他	8,045	8,527	6,857	5,292	5,726	4,063	7,048	5,395	4,655	4,513
合計	39,043	24,140	47,446	86,805	198,104	46,478	24,455	19,295	16,953	18,763

※その他の魚種：ぶり、ひらめ、ふぐ、あなご他

(浜田市水産業振興協会調べ)

平成28年の水揚量は18,763トン、水揚金額は57億6,363万円であり、前年に比べて水揚量は1,810トン、水揚金額は9億7,263万円の増でした。

水産業を取り巻く環境は、資源の枯渇、担い手の高齢化や後継者不足など非常に厳しい状況にありますが、こうした現状を改善するために引き続き栽培漁業の推進、漁場整備などによる漁業資源の確保、県外船の誘致及び沖合底曳網漁船、旋網漁船の存続に向けたリシップによる漁業構造改革の取組などを行い、水産業の振興を図ります。

また、魚価の向上を図るため、「どんちっち」ブランドの推進・定着や「山陰浜田港」「沖獲れ一番」のブランド化などに取り組んでいます。

どんちっち三魚(アジ・バドグロ・カレイ) 浜田港四季のお魚(季節毎に全26種を選定)



春(12種)

バトウ



夏(6種)

アカアマダイ



秋(10種)

ケンサキイカ



冬(12種)

アンコウ

(2) 浜田港の利活用

浜田税関支署管内(浜田港・三隅港)の平成28年の貿易総額は348億8,700万円となり、前年実績を10億6,900万円上回りました。

浜田港における主な貨物は、輸出は韓国向けの再輸出品、ロシア向けの中古自動車、輸入は韓国からの船舶類、カナダからの木材が大きなシェアを占めています。三隅港では、主に石炭の輸入が行われました。

また、釜山港との国際定期コンテナ航路のコンテナ貨物の取扱量は2,918TEUとなり、昨年度に比べ増加しました。主な貨物は、輸出は木材、輸入はポリエチレン、無機化合物となっています。



平成28年5月に寄港したクルーズ客船「にっぽん丸」

(参考)平成28年

◆輸出入上位品目◆

(単位:百万円)

<輸出>

再輸出品	3,725
自動車	266
木材	127

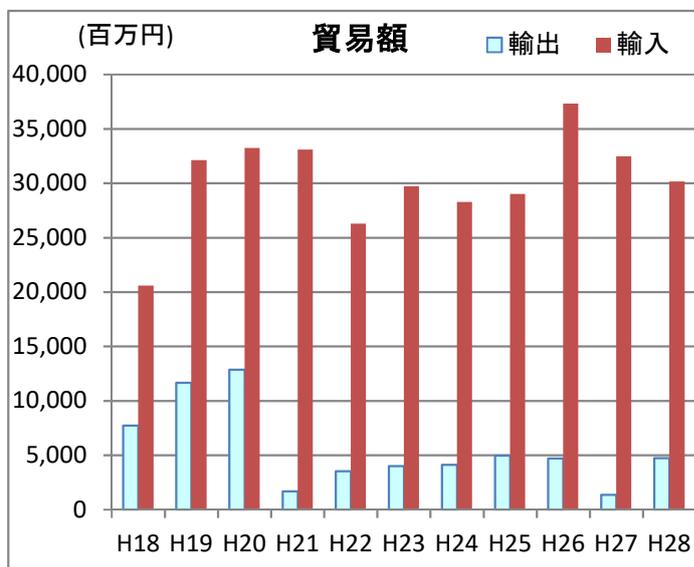
<輸入>

石炭	19,694
船舶類	3,477
無機化合物	2,252

(浜田税関支署管内貿易概況より)

①「浜田税関支署管内貿易額」の推移

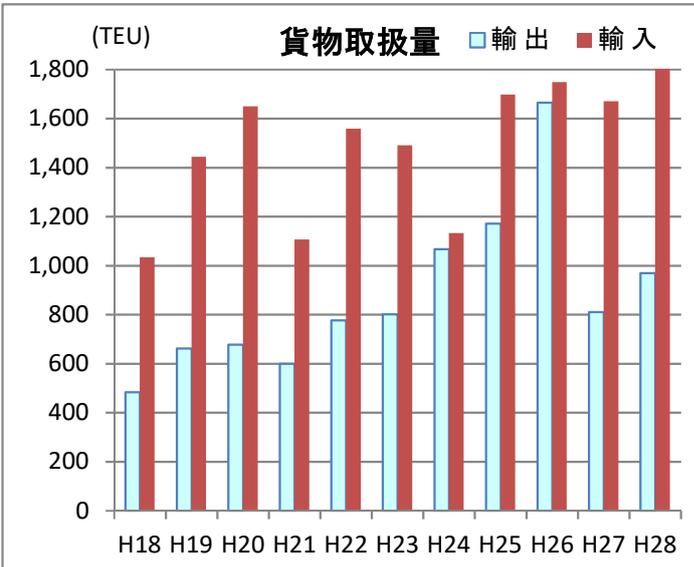
年分	貿易額 (単位:千円)		
	輸出額	輸入額	合計
平成18年	7,730,838	20,577,117	28,307,955
平成19年	11,647,005	32,128,959	43,775,964
平成20年	12,867,376	33,240,024	46,107,400
平成21年	1,692,163	33,085,735	34,777,898
平成22年	3,541,450	26,294,478	29,835,928
平成23年	3,989,997	29,718,630	33,708,627
平成24年	4,123,858	28,283,650	32,407,508
平成25年	4,959,698	29,016,886	33,976,584
平成26年	4,700,426	37,308,047	42,008,473
平成27年	1,343,000	32,476,000	33,819,000
平成28年	4,726,000	30,162,000	34,888,000



※貿易額の推移：財務省貿易統計及び浜田税関支署管内貿易概況から抜粋

②「浜田港国際定期 コンテナ航路貨物取扱量」

年度	貨物取扱量 (単位:TEU)		
	輸出	輸入	合計
平成18年度	484	1,033	1,517
平成19年度	662	1,444	2,106
平成20年度	678	1,649	2,327
平成21年度	600	1,106	1,706
平成22年度	777	1,559	2,336
平成23年度	801	1,491	2,292
平成24年度	1,067	1,132	2,199
平成25年度	1,171	1,698	2,869
平成26年度	1,665	1,749	3,414
平成27年度	811	1,670	2,481
平成28年度	970	1,948	2,918



※貨物取扱量：1TEUは20フィートコンテナ1本に相当し、40フィートコンテナ1本は2TEUとなる

(3) 農 業

浜田市は、兼業農家による水田農業が中心で、基幹作物である水稲については、全国的な米消費の低下や米価の低迷、生産調整による作付面積の減少及び肥料等の高騰などにより、農家所得は低下しており、農業者の高齢化もあいまって担い手の不足が課題となっています。

なお、気象条件(温暖化含む)や立地条件などによる収量・品質・規格の向上を図るため、品種の転換を進めています。コシヒカリの栽培割合が依然として高い現状となっています。(市全体:コシヒカリ76%、きぬむすめ15%)

また、「儲かる農業」の推進として、中山間地域の特徴を活かした大粒ぶどう・赤梨・西条柿の特産果樹や有機野菜の栽培に力を入れるとともに、水稲や果樹の栽培に大豆・キャベツ・あすっこ・アスパラガスなどの栽培を組み合わせ、農家所得の向上を目指しています。

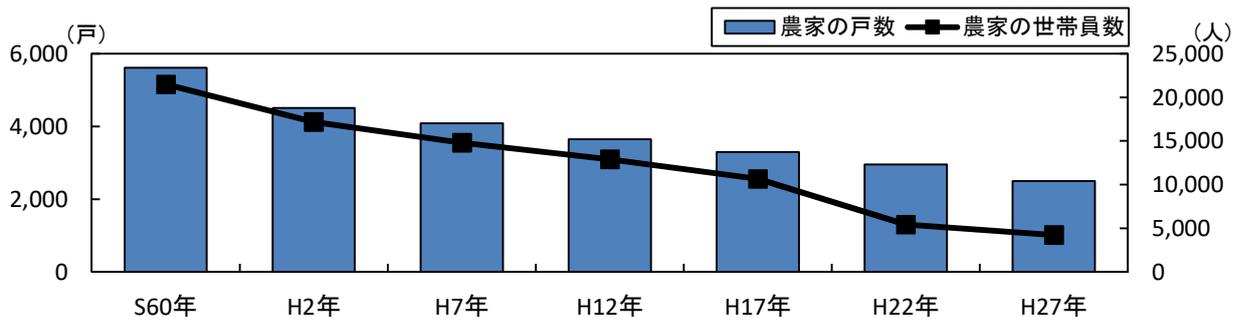
①農家の戸数、世帯員数の推移

(単位:戸、人)

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
浜 田	農家の戸数	2,052	1,438	1,249	1,083	989	911	779
	農家の世帯員数	8,231	5,901	4,834	4,099	3,278	1,185	848
金 城	農家の戸数	1,023	965	907	858	786	691	590
	農家の世帯員数	4,060	3,779	3,464	3,186	2,722	1,705	1,345
旭	農家の戸数	847	757	715	657	600	554	462
	農家の世帯員数	2,990	2,631	2,319	2,096	1,831	1,165	939
弥 栄	農家の戸数	485	434	406	367	320	284	230
	農家の世帯員数	1,659	1,464	1,336	1,181	945	576	481
三 隅	農家の戸数	1,208	916	813	685	598	516	432
	農家の世帯員数	4,554	3,401	2,835	2,328	1,895	799	614
合 計	農家の戸数	5,615	4,510	4,090	3,650	3,293	2,956	2,493
	農家の世帯員数	21,494	17,176	14,788	12,890	10,671	5,430	4,227

※平成22年の農家の世帯員数は、販売農家のみ

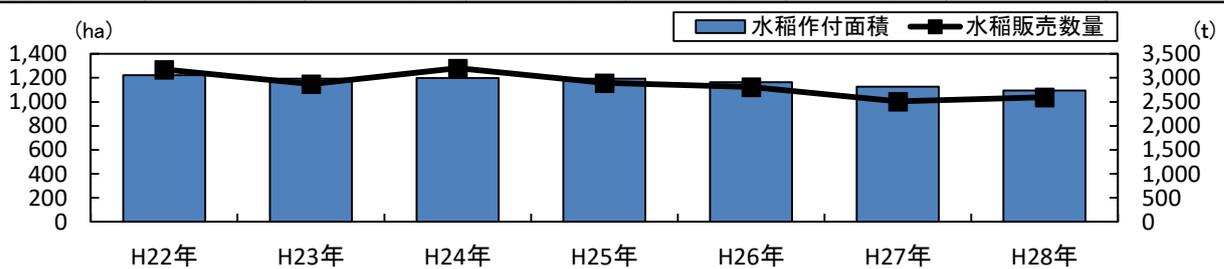
(農林業センサス調べ)



②水稲作付面積、水稲販売数量の推移

(単位:ha、t)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
水稲作付面積	1,221	1,193	1,198	1,192	1,164	1,128	1,096
水稲販売数量	3,173	2,872	3,200	2,894	2,809	2,510	2,597



〔特産果樹〕



大粒ぶどう
(ピオーネ)



赤梨



西条柿

〔組合せ作物〕



キャベツ



あすっこ



大豆



アスパラガス

(4) 商業

市内商業地は、平成3年12月の浜田自動車道の開通後、郊外型大型店舗やコンビニエンスストア等の進出、後継者不足等により以前のような賑わいがなくなり、中心市街地の魅力が薄れ、空き店舗の増加や商業機能の衰退が進んでいる現状にあります。今後は、地元の大学、専門学校、学生等の若者や女性が集まるような魅力ある商店・店舗づくりが求められています。

また、浜田市には全国に誇れる水産加工品や工業製品も数多くありますが、若年労働者の県外流出による後継者不足やIT活用等の戦略的な情報発信不足により販路の拡大が大きく見込めない現状となっていることから、創業・起業や女性経営者等による女性の視点に立った経営戦略を支援し、次の時代を担う小規模事業主の増加を図るとともに、後継者不在の既存事業主に対する事業承継に取り組んでいく必要があります。

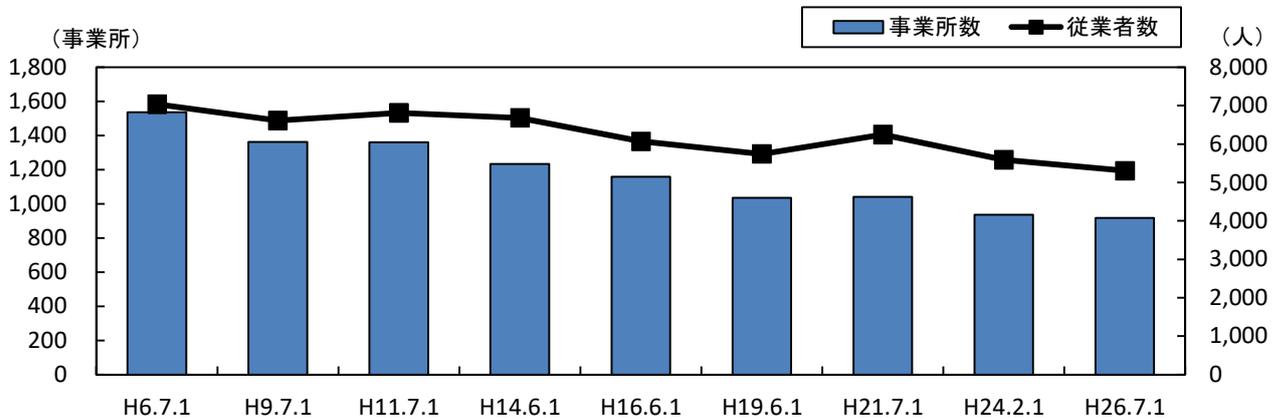
①商店数、従事者数及び商品販売額等の推移

(単位:事業所、人、百万円)

	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成21年	平成24年	平成26年
事業所数	1,537	1,363	1,361	1,233	1,159	1,035	1,041	937	918
従業者数	7,032	6,609	6,810	6,680	6,073	5,741	6,245	5,588	5,307
年間商品販売額	196,380	182,558	171,033	155,497	149,499	130,471	-	116,601	132,239

※平成16年以前は合併前旧市町村の数値の合計
 ※平成21年は基礎調査のみ

(平成19年までは商業統計調査より)
 (平成21年以降は経済センサスより)



(5) 工業

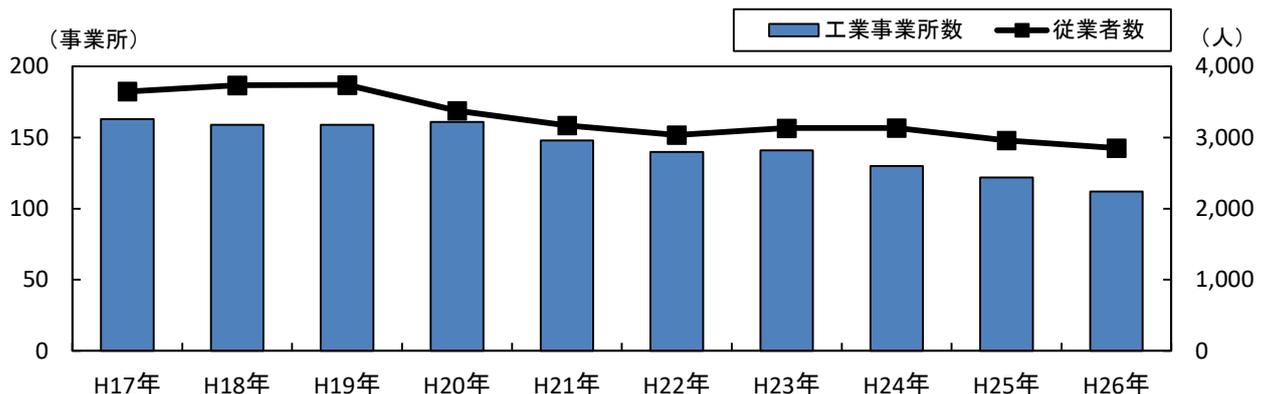
①工業事業所数、従事者数及び製造品出荷額等の推移

(単位:事業所、人、百万円)

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
工業事業所数	163	159	159	161	148	140	141	130	122	112
従業者数	3,647	3,736	3,739	3,379	3,169	3,036	3,133	3,134	2,959	2,850
製造品出荷額等	65,177	67,780	71,955	61,176	48,951	55,794	49,302	62,823	62,188	65,403

※平成16年以前は合併前旧市町村の数値の合計

(工業統計調査【調査日12月31日】より)
 (平成23年は、経済センサス活動調査より)



(6) 観 光

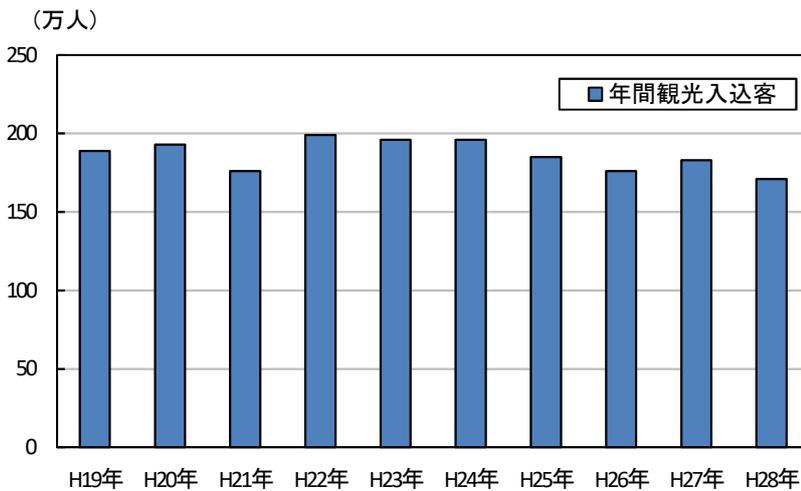
平成28年は連休の暦や週末の天候に恵まれず、入込客数が減少するとともに、中国電力三隅発電所の保全点検などや「ようこそ浜田！ 共通商品券」による効果の反動もあり、宿泊者数も大幅に減少しました。

そういった状況の中、お宝観光資源の活用や合宿・コンベンションの誘致、地域間交流などの広域連携による誘客に取り組み、交流人口の拡大に努めました。

① 浜田市の観光入込客の推移

(単位: 万人)

年間観光入込客	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
	189	193	176	199	196	196	185	176	183	171



浜っ子春まつり



石見神楽(大蛇)

② 浜田市の宿泊者数推移表

(単位: 人)

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
27施設の宿泊者数	132,900	111,067	115,516	103,380	107,222	107,309	101,457	112,777	112,691
50施設の宿泊者数	-	-	-	-	-	228,589	225,043	261,903	237,352

※毎月実施している、市内の対象宿泊施設の宿泊客述べ数調査の合計。

※平成24年までは、調査対象施設が27施設。

※平成25年以降は、調査対象施設が50施設。



ユネスコ無形文化遺産「和紙:日本の手漉和紙技術」第1回和紙サミット (平成28年7月)



全国高等学校総合体育大会 体操競技大会 (平成28年8月)



第2回山陰浜田港マリン大橋 リレーマラソン (平成29年3月)

(7) 主要施設の利用状況

《浜田自治区》

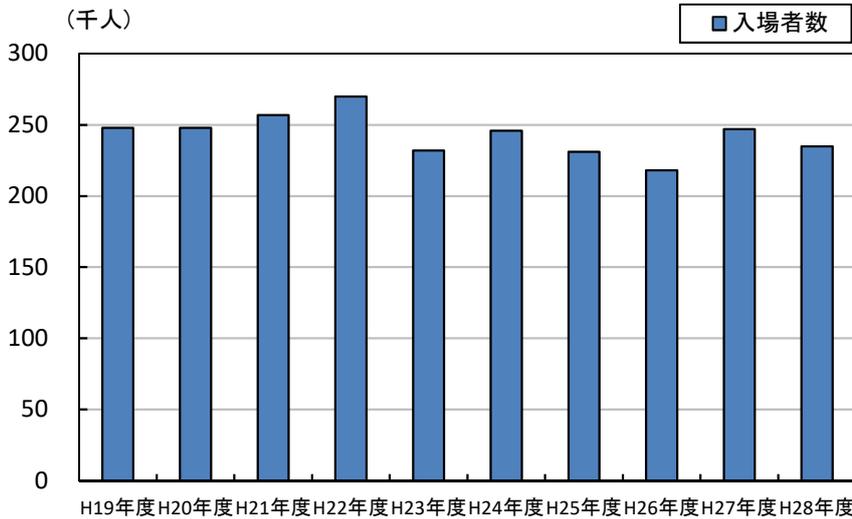
① 海浜公園入場者数の推移

(単位:千人)

入場者数	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	248	248	257	270	232	246	231	218	247	235

※アクアスは除く

(浜田県土整備事務所調べ)



海浜公園(海水浴場)



海浜公園(ケビン村)

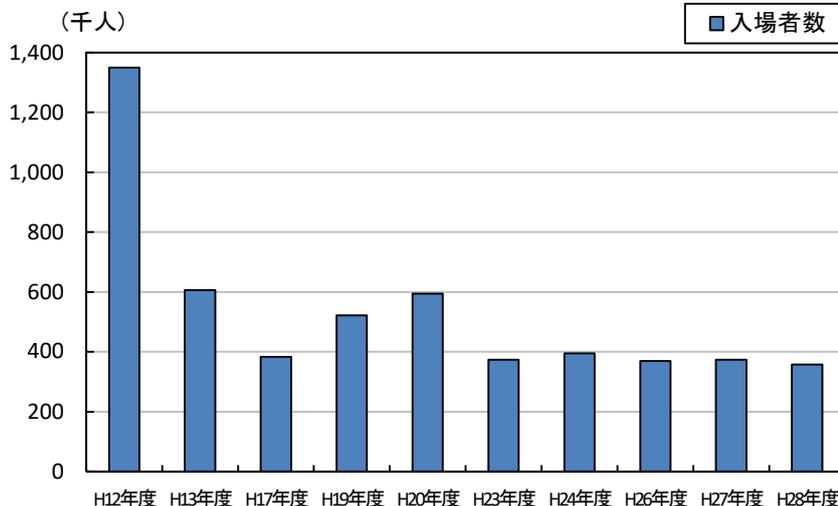
② しまね海洋館「アクアス」入場者数の推移

平成28年度はゴールデンウィークやシルバーウィークの暦に恵まれず、また、関連団体と連携したイベント開催時の天候も悪く、入場者数は減少しました。

また、平成29年度も5月15日からシロイルカパフォーマンスプールを対象に行われるリフレッシュ工事のため、約1年間シロイルカパフォーマンスが休止となるため、その影響が心配されます。

(単位:人)

入場者数	平成12年度	平成13年度	平成17年度	平成19年度	平成20年度	平成23年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	1,349,892	606,213	383,152	521,743	594,156	374,092	394,539	369,024	373,833	357,772



しまね海洋館「アクアス」



シロイルカ

③しまねお魚センター入場者数の推移

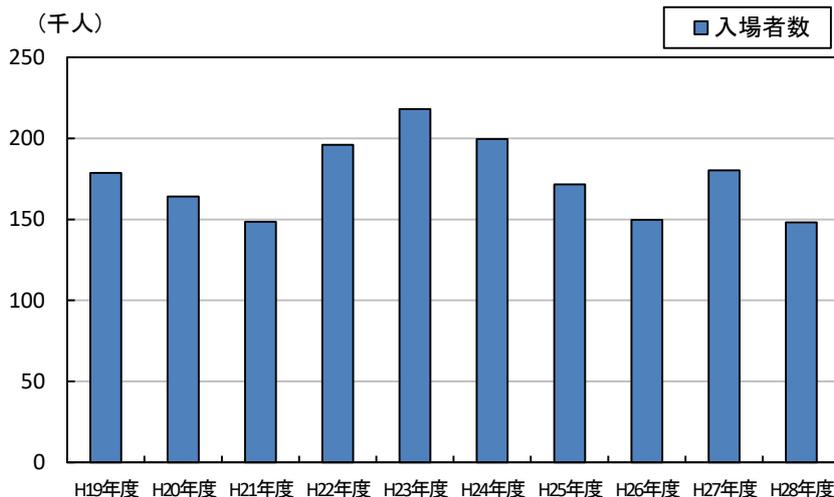
しまねお魚センターは平成5年5月にオープンし、浜田漁港で水揚げされる魚介類・水産加工品や特産物を求めて、県内はもちろん県外、特に広島方面からの観光客が来店されています。

平成26年12月に施設リニューアルを行い、イベントや周辺観光施設との連携、団体バスの誘致活動などを行うことにより、来場者の増加やリピーターの確保に努めています。

(単位:人)

入場者数	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	178,687	164,121	148,503	195,978	218,028	199,682	171,671	149,732	180,289	148,180

※平成22年10月から入場者数の集計方法が変更となりました。



しまねお魚センター

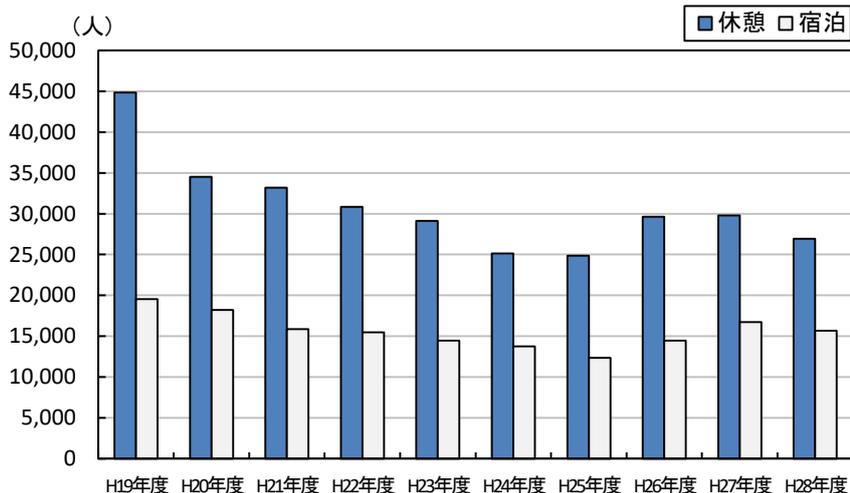
④国民宿舎千畳苑利用客数の推移

国民宿舎千畳苑は、平成25年度から指定管理者「Fun Space株式会社」が、宿泊者数や収益の増加を目指した運営をしています。具体的には、webを活用した宿泊予約、レストランメニューの刷新、従業員研修の徹底によるリピーター客の確保対策やエネルギーのファシリティマネジメントなどに取り組んでいます。また、ふるさと寄附の返礼品としての宿泊券等の提供など、新たな取組も進め、利用促進に努めています。

(単位:人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
休憩	44,829	34,503	33,172	30,860	29,134	25,136	24,869	29,635	29,779	26,930
宿泊	19,557	18,204	15,853	15,487	14,478	13,744	12,366	14,476	16,718	15,684

※休憩の内訳は一般休憩、日帰り宴会、レストラン、バス団体



国民宿舎千畳苑